

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2012
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.102, (2012. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01020001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究

第百二号

目次

- 1 僧伝と僧讃——本邦故事の流入の端緒として—— 山崎明
- 21 百年、畢竟、これ行旅——桐生の詩人・佐羽淡斎の「総宜楼」詩碑を
めぐって 新谷雅樹
-
- 81 彙報
- 2011 年度慶應義塾大学藝文学会シンポジウム
——文学は危機を迎えているか？——
- 87 危機において発揮される文学の底力 牛場暁夫
- 106 文学の危機——文学から原発を考える—— 川村晃生
- 131 現代和語表記の特質——歴史的アプローチ 片山久留美
- 148 会話の中で「あれ」の役割を考える 畑山玲恵子
- 164 “累了”との比較からみる“累了”の表現機能 李菲
- 181 日本語の「オーバーラップした語り」について
——話法の比較詩学—— 橋本陽介
- 198 ポンテュス・ド・ティヤール(1521 - 1605)とミシェル・エイケム・ド・
モンテーニュ(1533 - 1592)における知識の捉え方の違い 小池美穂
- 216 「民間語源」と「学者語源」と「ことば遊び」 川口順二
- 235 英雄のデーモン——ゲーテの叙事詩断片『アキレウス』について
橘宏亮
- 257 痕跡を感じ入る——踊らない身体の知覚について 平田栄一郎
- 274 派生表現の多義と文脈：語彙化された -er 名詞とされていない -er 名詞
の修飾語 濱田啓志
- 286 クローゼットとしてのスカリイズ・ランディング
——トルーマン・カポーティの『遠い声、遠い部屋』 遠藤容代
- 306 チョーサーの家扶の人物描写と「家扶の話」における主体性の問題
工藤義信